

●メインフレーム

メインフレームは、ライダーや路面からの入力に対する俊敏な応答性向上と軽量化をねらいました。中空アルミダイキャスト製の基本仕様を踏襲し、CAE解析と実走により、エンジンハンガーの剛性を調整することで応答性の向上を図りました。また、軽量化も同時に行い、各部位に求められる剛性やしなやかさを備えながら、単体で約300gの軽量化を実現しました。

●シートレール

新設計のアルミダイキャスト製シートレールを採用しました。徹底した薄肉化により、従来モデルよりも単体で約600gの軽量化を実現しました。

設計に際しては、シートレールもメインフレームの一部と捉え、メインフレームと組み合わせた状態での各部剛性の最適化を図りました。車体重心から比較的遠い位置に配置されるシートレールの軽量化で得られるマス集中化は、軽快感あふれるニュートラルなハンドリング特性に大きく寄与しています。

●スイングアーム

スイングアームは、基本仕様を踏襲しながら、左右の剛性バランスをシンメトリーとするように再設計しました。併せて大径リアアクスルの採用による剛性バランス見直しを図りました。また、約300gの軽量化も実現し、高剛性でありながらしなやかさを併せ持つスイングアームとすることで、ねらったラインをトレースし、ライダーの意思を反映できる走行フィーリングに大きく寄与しています。



■CBR1000RR SPストリップボディー